

## 会長挨拶

今、何をしないといけないか 2024 へ



公益社団法人和歌山県栄養士会 会長 川村 雅夫

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。  
また平素は、栄養士の事業や活動に対しまして、格別のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、私ごと栄養士会長を拝命し、1年が経過しました。

会長として幾つかの委員を命じられ、「県民の健康づくり」や「食育推進計画」などの委員会に参加させて頂き、和歌山県の疾病の状況や少子高齢化の現状を改めて知ることができ、食にまつわる問題・課題も山積していることがわかりました。

和歌山県の死亡率は「がん」につぎ、「心疾患（生活習慣病を含む）」の死亡率が高く、高齢化率では全国で11番、近畿で1番という高齢者の多い県であります。また、20歳から24歳の人口が少なく、高校卒業後の県外流出がひとつの要因となり、和歌山県の人口増加は難しい状況になっています。

栄養士会として、高齢者の健康維持増進はもとより、「未来のおとな」への食育にも力を入れていきたいと考えています。

令和4年度に和歌山県が実施した県民健康・栄養調査結果では、若い世代の「朝食の欠食」「野菜や果物の摂取不足」「塩分摂取」「産生エネルギーバランス（脂質が多い）」の問題など正しい食事のとりかたなどの啓発活動が重要となっています。

一方で、核家族化が進み伝承食が忘れられつつあり「和歌山の食文化」も衰退している現状があります。

和歌山県栄養士会としましては、これらの問題にも取り組み、若い世代へ、食を通じて和歌山を知り「和歌山愛」を根づかせ、和歌山を離れても和歌山の味を懐かしく思う、食育に取り組んで行きたいと考えています。

また、令和6年1月1日16時10分地震速報が流れ、テレビ画面が変わり一瞬にして正月気分が吹っ飛んでしまいました。

テレビ画面で、その被害の大きさがわかり、和歌山県栄養士会は同日17時52分にJDA-DAT和歌山とLINEによる一斉送信で情報共有し、被災地への派遣に向け準備を始めました。

当会には1月25日17時02分日本栄養士会から派遣要請があり、2月2日から3月26日の期間に1班3人体制で3班、延べ34名のJDA-DAT和歌山を金沢市の1.5次避難の方々への給食支援活動及び七尾市を拠点に輪島市や能登町への栄養補助食品の補給及び情報収集、健康相談等の支援を行ってまいりました。また、私自身もJDA-DAT和歌山と共に活動し、災害給食の大切さを再認識したところです。

和歌山県栄養士会が被災地支援に貢献できたことを私は誇りに思っています。

被災地に向かった JDA-DAT 和歌山、後方支援にあたった JDA-DAT 和歌山のメンバーにはお礼申し上げます。

紀伊半島は南海トラフ大地震の脅威があり、更なる体制整備と体制強化を進めていきたいと考えています。また和歌山県で JDA-DAT 和歌山の活動を高く評価して頂き、講演会の依頼や和歌山県での被災地支援のあり方などの問い合わせが多くなっており、JDA-DAT 和歌山のリーダーを中心に対応をお願いしているところです。

次に公益事業であります。昨年度は給食管理をテーマに各保健所で講習会を開催させていただきました。

ご協力頂いた和歌山県健康推進課や和歌山市保健所、県立保健所の栄養指導員には大変お世話になり改めてお礼申し上げます。

講習会では、県下 461 施設から 272 名に出席を頂き、有意義以上の評価を多く頂きました。

また意見では、保健所での講習会で参加しやすかった。入会していないが講習会に参加できてよかったなどがあり、公益法人としての使命が果たせたとも思っています。

今後も引き続きこのような活動が出来ますよう理事会に諮っていききたいと考えています。

最後になりますが、第 12 回定時総会において総会添付資料「簿外資産発覚後の経過報告」で説明させて頂きましたが、公益事業 1 の拡大、事務局職員の強化、併せてホームページの改修等について 8 月の理事会において補正予算案を提示し、審議して頂く事になっております。また、その結果はホームページに掲載させていただきます。

当会は会費で運営を行っています。

組織強化を図り、栄養士会の目的を達成していくには、会員増なくして成し得ません。

そこで、会員の皆様には「組織率の向上」に取り組んで頂きたく、お願い致します。

職場での入会状況、各部会での入会状況、各地域での入会状況、友達（仕事仲間）での入会状況を確認頂き、組織率を高めることが、会員増につながるのではないかと考えます。

そのためには、公益事業の拡大が必須であり、重要と考えています。

県民に求められる栄養士・管理栄養士として活動ができますよう公益社団法人和歌山県栄養士会員の皆様に引き続きご協力をお願い致します。